学 院 ミ サ

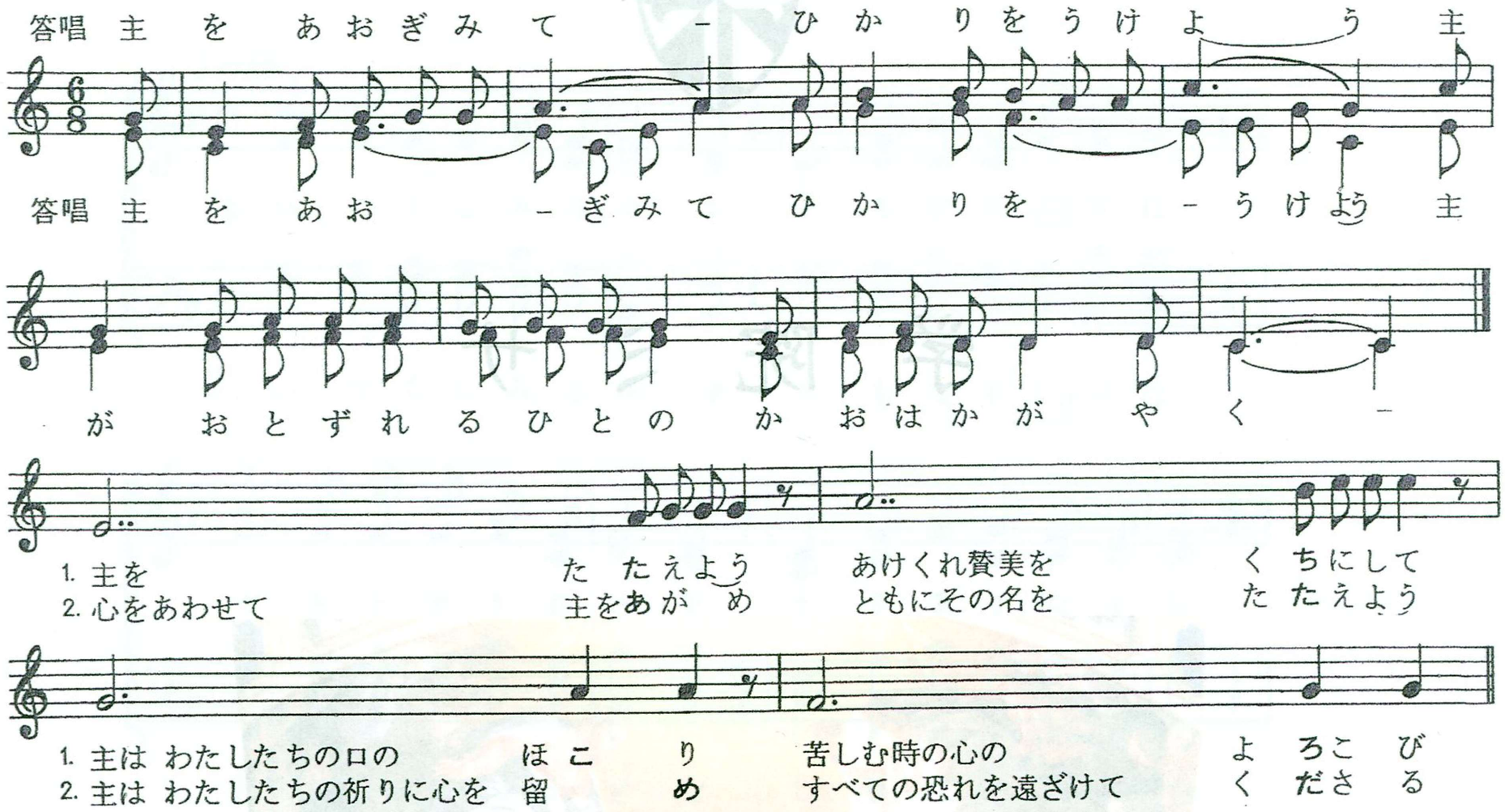
＿＿＿＿＿学院を通してキリストと結ばれ、
今は世を去って父なる神のもとにあるすべての人のために

2018 年 11 月 29 日（木）16:45～

＿＿＿＿＿学院＿＿＿＿＿聖堂

司　式　＿＿＿＿＿神父（カトリック仙台教区第５地区地区長）

入祭の歌 「主を仰ぎ見て」



司　祭　　「十父と子と聖霊の みなによって。」

※司祭と共に右手で額・胸・左肩・右肩と十字架の印をします。

全　員　　「アーメン。」

司　祭　　「主イエス・キリストの恵み 神の愛 聖霊の交わりが皆さんとともに。」

全　員　　「また司祭とともに。」

司　祭　　「皆さん、わたしたちの罪を思い、
感謝の祭儀を祝う前に心を改めましょう。全能の神と、」

全　員　　「兄弟の皆さんに告白します。わたしは、思い ことば 行い 怠りによってたびたび罪を犯しました。聖母マリア すべての天使と聖人 そして兄弟の皆さん、罪深い わたしのために神に祈ってください。」

司　祭　　「全能の神が わたしたちを あわれみ、罪をゆるし、永遠の いのちに導いてくださいますように。」

全　員　　「アーメン。」

あわれみの賛歌

先　唱　　「主よ、あわれみたまえ。」

全　員　　「主よ、あわれみたまえ。」

先　唱　　「キリスト、あわれみたまえ。」

全　員　　「キリスト、あわれみたまえ。」

先　唱　　「主よ、あわれみたまえ。」

全　員　　「主よ、あわれみたまえ。」

集会祈願

司　祭　　「全能の神よ、あなたのひとり子は死を滅ぼして、栄光のいのちによみがえられました。この世を去った＿＿＿＿＿学院に連なるすべての人が、キリストとともに死に打ち勝ち、あなたの栄光を仰ぎ見ることができますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。」

全　員　　「アーメン。」

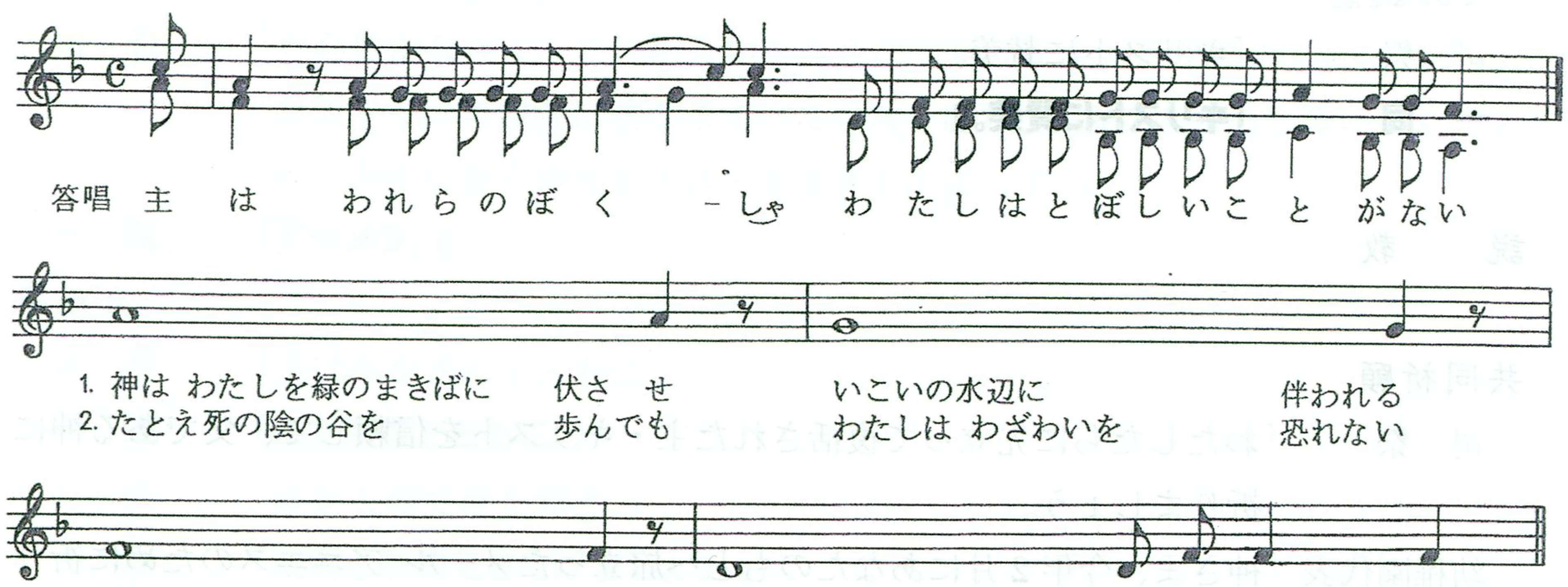
使徒パウロのコリントの教会への手紙

キリストは死者の中から復活した、と宣べ伝えられているのに、あなたがたの中のある者が、死者の復活などない、と言っているのはどういうわけですか。

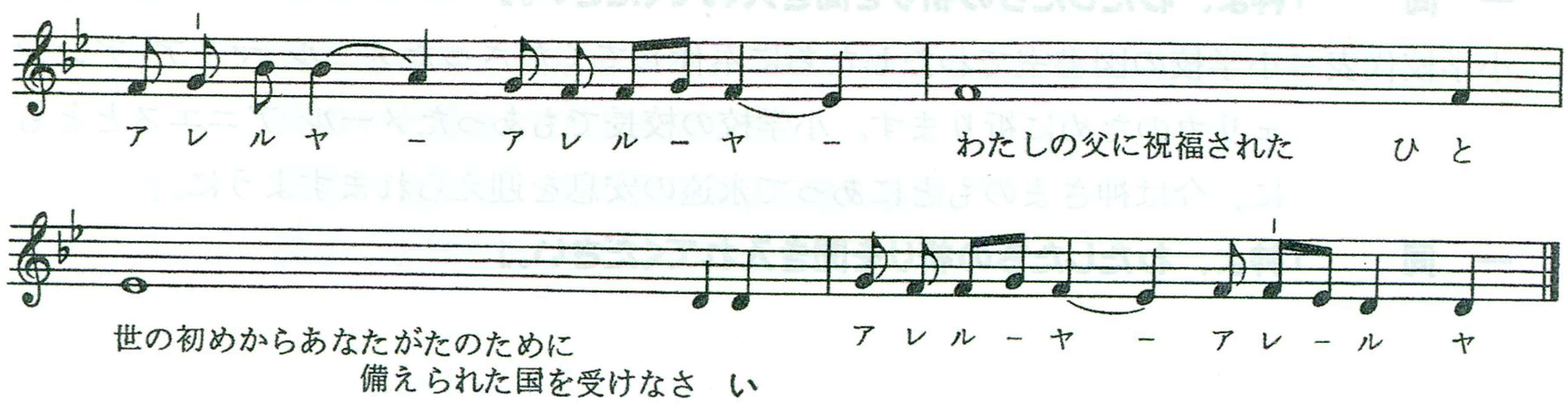
死者が復活しないのなら、キリストも復活しなかったはずです。そして、キリストが復活しなかったのなら、あなたがたの信仰はむなしく、あなたがたは今もなお罪の中にあることになります。そうだとすると、キリストを信じて眠りについた人々も滅んでしまったわけです。この世の生活でキリストに望みをかけているだけだとすれば、わたしたちはすべての人の中で最も惨めな者です。

しかし、実際、キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となられました。　　（コリントの信徒への手紙一　15：12,16～20）

答唱詩編「主はわれらの牧者」



アレルヤ唱



司　祭　　「主はみなさんとともに。」

一　同　　「また司祭とともに。」

司　祭　　「ヨハネによる福音。」

一　同　　「主に栄光。」

※と唱えながら、額・口・胸に右手親指で十字架のしるしをします。

マタイによる福音

「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く。そして、すべての国の民がその前に集められると、羊飼いが羊と山羊を分けるように、彼らをより分け、羊を右に、山羊を左に置く。そこで、王は右側にいる人たちに言う。『さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』すると、正しい人たちが王に答える。『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物を差し上げ、のどが渇いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか。いつ、旅をしておられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたでしょうか。いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたでしょうか。』そこで、王は答える。『はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』」

（マタイによる福音書 25:31～40）

司　祭　　「キリストに賛美。」

一　同　　「キリストに賛美。」

説　　教

共同祈願

司　祭　　「わたしたちに先立って復活された主・キリストを信頼して、父である神に祈りましょう。」

幼稚園代表「神さま、今年２月にあなたのもとへ旅立ったメール アニエスのために祈ります。わたしたちの学院の理事長として、奉献生活を全うされたメール アニエスが、これからもわたしたちの学院を見守ってくださいますように」

一　同　　「神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。」

小学校代表「小学校の図書室でわたしたちに奉仕してくださったメール マリア アンジェリカのために祈ります。小学校の校長でもあったメール アニエスとともに、今は神さまのもとにあって永遠の安息を迎えられますように。」

一　同　　「神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。」

中学校代表「国語の授業と剣道、ボランティア活動を通して、神の愛の実践をわたしたちに教えてくださったアウグスティヌス高橋 覚先生のために祈ります。
覚先生が生涯を注がれたボランティア活動の火を消すことなく、わたしたちもいつも奉仕の精神を生きていくことができますように。」

一　同　「神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。」

高校代表「あなたのもとへと旅立った私たちの家族、恩人、友人のために祈ります。
わたしたちが今捧げる祈りが、彼ら彼女たちの永遠の安息のためになりますように。」

一　同　「神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。」

事務代表「愛する家族と別れ、悲しみのうちにある遺族の方々のために祈ります。
聖ドミニコと聖母マリアの取り次ぎによって、父である神さまの癒しの力が御家族の上に強く注がれますように」

一　同　「神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。」

司　祭「わたしたちの希望である父よ、あなたは信頼する者をいつも助けてくださいます。＿＿＿＿＿学院に連なる者の死を顧み、その生涯を捧げものとして受け入れてください。御子キリストのうちにあって復活の栄光にあずからせてくださいますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。」

一　同　「アーメン。」

奉納祈願

司　祭「恵み豊かな神よ、この供え物をささげて祈ります。あなたのもとに召された＿＿＿＿＿学院に連なるすべての人を顧み、永遠のいのちに導いてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。」

一　同　「アーメン。」

奉献文

司　祭「主はみなさんとともに。」

一　同　「また司祭とともに。」

司　祭「心をこめて神を仰ぎ、」

一　同　「賛美と感謝をささげましょう。」

司　祭「聖なる父、全能永遠の神、・・・・・終わりなくほめ歌います。」

感謝の賛歌

先　唱「聖なるかな、」

一　同**「聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。主の栄光は天地に満つ。
天のいと高きところにホザンナ。
ほむべきかな、主の名によりて来たる者。
天のいと高きところにホザンナ。」**

※司祭の祈りに耳を傾け、私たちも共に祈りを捧げます。

この祈りの中で、聖霊の働きとイエスによる聖体の制定の言葉により
パンとぶどう酒は聖別されます。
司祭とともに聖別されたパンとぶどう酒に１回ずつ、合掌して頭を下げましょう。

司　祭　「信仰の神秘。」
一　同　「主の死を思い、復活をたたえよう、主が来られるまで。」

司　祭　「キリストによってキリストともにキリストのうちに、
聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、」
一　同　「すべての誉れと栄光は、世々に至るまで。アーメン。」

主の祈り

司　祭　「主の教えを守り、みことばに従い、つつしんで主の祈りを唱えましょう」
一　同　「天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますように。
み国がきますように。
み心が天に行われるように地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を　今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。」

※司祭の祈りが続くため、ここでアーメンは唱えない。

司　祭　「いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、現代に平和をお与えください。あなたのあわれみに支えられ、罪から解放されて、すべての困難にうち勝つことができますように。わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。」
一　同　「国と力と栄光は、限りなくあなたのもの。」

司　祭　「主イエス・キリスト、あなたは使徒に仰せになりました。
『わたしは平和をあなたがたに残し、わたしの平和をあなたがたに与える。』
わたしたちの罪ではなく教会の信仰を顧み、おことばの通り教会に平和と一致をお与えください。」
一　同　「アーメン。」
司　祭　「主の平和がいつもみなさんとともに。」
一　同　「また司祭とともに。」
※互いに「主の平和」と唱えながら合掌して一礼し、親睦の挨拶を交わします。

平和の賛歌

先　唱　　「神の小羊、」

一　同　　「世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。」

先　唱　　「神の小羊、」

一　同　　「世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。」

先　唱　　「神の小羊、」

一　同　　「世の罪を除きたもう主よ、われらに平安を与えたまえ。」

司　祭　　「神の小羊の食卓に招かれた者は幸い。」

一　同　　「主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧（かて）、
あなたをおいてだれのところに行きましょう。」

聖体拝領

※聖体（聖別されたパンとぶどう酒、またはパンだけ）を拝領します。
聖体拝領は洗礼を受け、聖体拝領の意味を理解した人だけが行います。
聖体拝領に代えて、司祭から祝福を受けることができます。
拝領の列に並び司祭の前で合掌し、頭を軽く下げて「祝福を」とお伝え下さい。

拝領唱

先　唱　　「わたしは復活でありいのちである。わたしを信じる者は永遠のいのちを持ち、
裁きを受けることがなく、死からいのちに移っている」

拝領祈願

司　祭　　「いつくしみ深い神よ、いのちの糧に力づけられて祈ります。
聖ドミニコ学院に連なるすべての死者が罪から清められ、
復活の恵みを豊かにうけることができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。」

一　同　　「アーメン。」

派遣の祝福

司　祭　　「主は皆さんとともに。」

全　員　　「また、司祭とともに。」

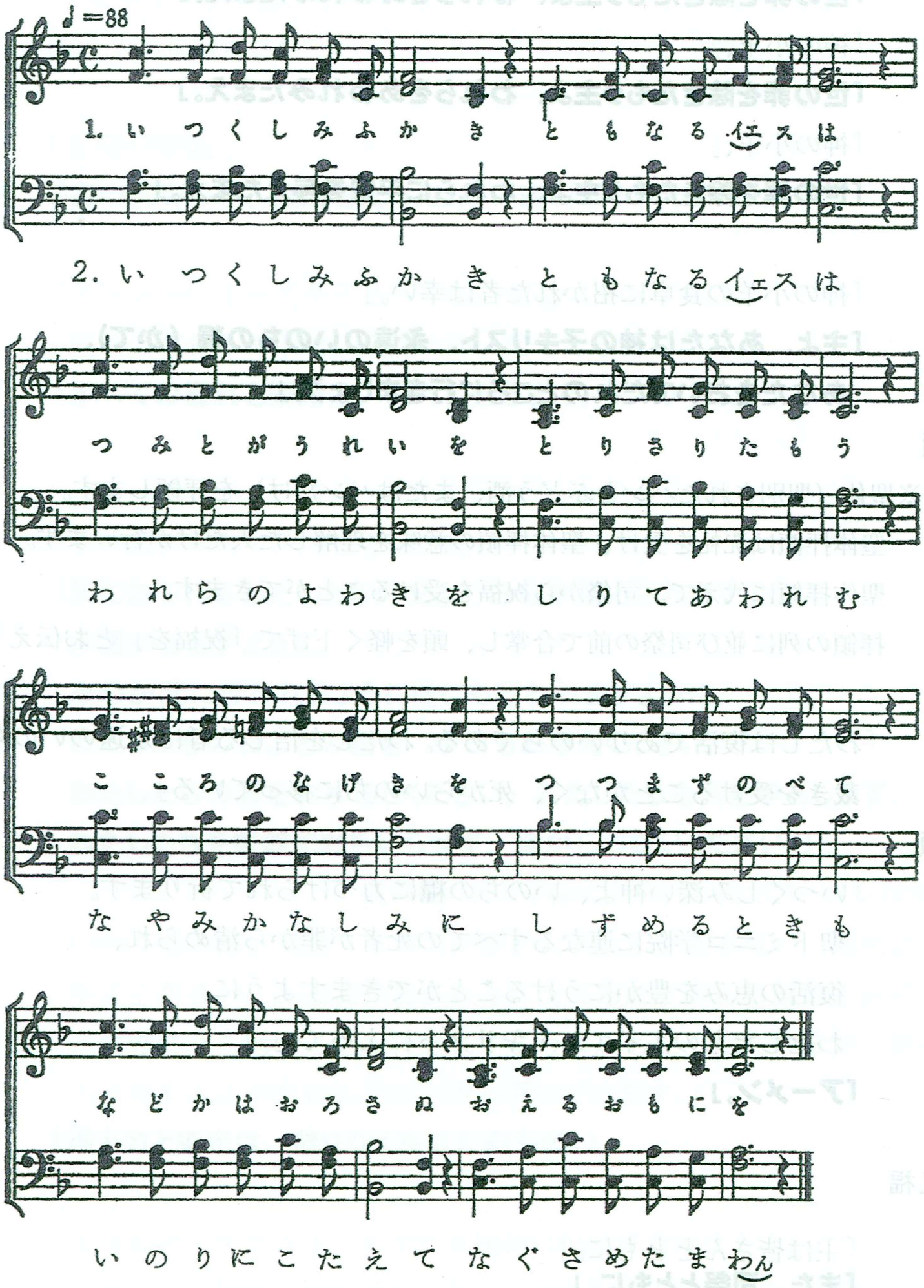
司　祭　　「全能の神、父と子と聖霊の祝福が＋皆さんの上にありますように。」
※「皆さんの上に」という司祭の言葉に合わせ、右手で額・胸・左肩・右肩と
十字架の印をします。

全　員　　「アーメン。」

司　祭　　「感謝の祭儀を終わります。行きましょう、主の平和のうちに。」

全　員　　「神に感謝。」

閉祭の歌 「いつくしみ深き」



今年帰天された教職員の方々

メール アニエス _____ (_____ 学院理事長・小学校校長)
アウグスチヌス 高橋 覚 (_____ 学院中学校高等学校)
メール マリア・アンジェリカ _____ (_____ 学院小学校)